

伊集院保健所感染症情報

2025年第15週（令和7年4月7日～令和7年4月13日）

【お問い合わせ先】 〒899-2501 鹿児島県日置市伊集院町下谷口 1960-1 鹿児島地域振興局保健福祉環境部（伊集院保健所）

TEL (099) 273-2332 / FAX (099) 272-5674 / E-mail kago-kenko-shippei@pref.kagoshima.lg.jp

鹿児島地域振興局 URL <http://www.pref.kagoshima.jp/ak01/chiiki/kagoshima/index.html>

● 定点把握感染症

管内警報発令：伝染性紅斑

定点医療機関【インフルエンザCOVID2，小児科1，基幹定点1，ARI2】

疾患名	警報基準値		注意報	伊集院保健所管内					県	
	開始	終息	基準値	第12週	第13週	第14週	第15週	先週からの増減	第14週	前週からの増減
ARI（急性呼吸器感染症）	—	—	—	—	—	—	90.50	—	—	→
インフルエンザ	30	10	10	2.00	1.40	1.80	3.50	↗	0.53	↘
COVID-19	—	—	—	2.60	2.80	0.80	1.00	↗	0.90	↘
咽頭結膜熱	3	1	—	1.00	0.33	0.33	0.00	↘	0.68	↗
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8	4	—	3.33	1.67	3.67	6.00	↗	1.70	↘
感染性胃腸炎	20	12	—	6.00	7.33	3.33	5.00	↗	9.34	↘
水痘	2	1	1	0.00	0.00	0.00	0.00	→	0.12	↘
手足口病	5	2	—	0.00	0.00	0.00	0.00	→	0.02	↘
伝染性紅斑	2	1	—	0.00	0.00	0.00	5.00	↗	0.16	↘
突発性発しん	—	—	—	0.00	0.00	0.00	0.00	→	0.16	↘
ヘルパンギーナ	6	2	—	0.00	0.00	0.00	0.00	→	0.02	↗
流行性耳下腺炎	6	2	3	0.00	0.00	0.00	0.00	→	0.04	→
R S ウイルス感染症	—	—	—	4.33	2.00	3.67	9.00	↗	2.02	↘

※警報域：太文字で赤色の塗りつぶし， 注意報域：太文字で黄色の塗りつぶし

● TOPIC

百日咳に注意しましょう！！

全国的に百日咳の感染が増加しています。百日咳は、百日咳菌の感染によって、特有のけいれん性の激しい咳発作（痙攣発作）を特徴とする急性の気道感染症です。

百日咳は世界的に見られる疾患で、いずれの年齢でもかかりますが、小児が中心となっています。母親からの免疫が十分でないために乳児期早期から罹患する可能性があり、乳児では重症になり、肺炎や脳症を合併し、まれに死に至ることもあります。

○主な症状は次の3期に分けられます。全経過で約2～3カ月で回復するとされています。

1 カタル期（2週間）

かぜ症状で始まり、次第に咳の回数が増え、程度も激しくなります。

2 痙攣期（2～3週間）

次第に特徴ある発作性けいれん性の咳（痙攣）となります。短い咳が続いたり、「ヒューヒュー」という呼吸音がみられたりすることもあります。

合併症としては肺炎や脳症などもあり特に乳児では注意が必要です。

3 回復期（2～3週間）

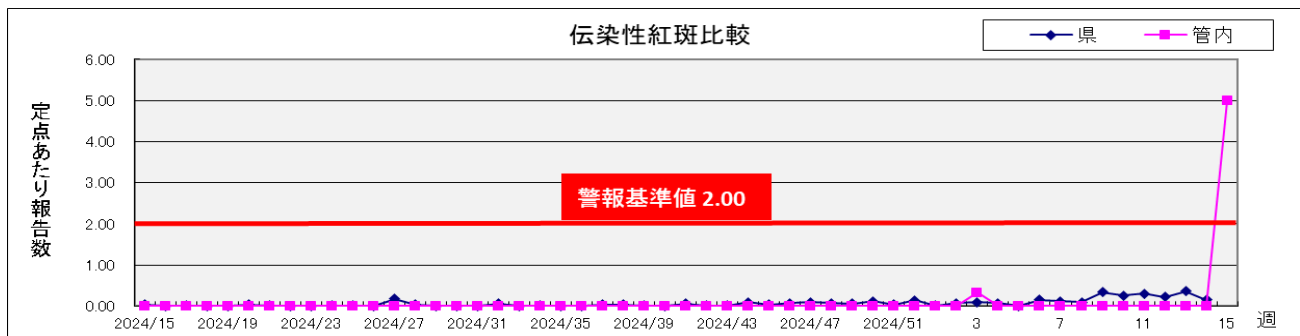
激しい発作は次第に減衰し、2～3週間で認められなくなります。

○感染経路は、飛沫感染や感染者と接触したりすることによる感染（接触感染）とされています。

○百日咳の予防対策には、5種混合ワクチン（DPT-IPV-Hib）等の接種が有効です。また、患者との濃厚接触を避け、手洗い、咳エチケットなどの一般的な予防法を励行しましょう。

● 注意すべき感染症

・伝染性紅斑（流行警報発令）



第15週の伊集院保健所管内における伝染性紅斑の報告数は、5人（定点当たり5.00）でした。年齢別では、3歳（2人）、4歳・5歳・7歳（各1人）の順に多い報告でした。

伝染性紅斑は、ヒトパルボウイルスB19による感染症です。小児を中心にみられる流行性の発しん性の病気です。両頬がリンゴのように赤くなることから、「リンゴ病」と呼ばれることもあります。

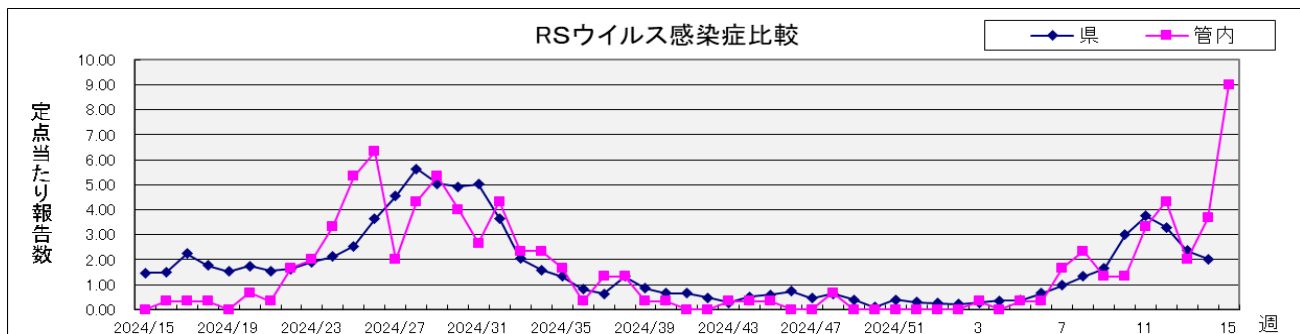
10～20日の潜伏期間の後、微熱やかぜの症状などがみられ、その後、両頬に蝶の羽のような境界鮮明な赤い発しん（紅斑）が現れます。発しんは1週間程度で消失します。

感染経路は、感染した人の咳のしぶき（飛まつ）を吸い込むことによる感染（飛まつ感染）や、感染者と接触したりすることによる感染（接触感染）です。

伝染性紅斑に感染したことのない女性が妊娠中に感染した場合、胎児にも感染し、胎児水腫などの重篤な状態や、流産のリスクとなる可能性があります。熱や倦怠感が出現した後に発疹が出るなど、伝染性紅斑を疑う症状がある場合は、医療機関に相談しましょう。

予防方法として、患者と濃厚接触を避け、手洗い、咳エチケットなどの一般的な予防法を励行しましょう。

・RSウイルス感染症



第15週の伊集院保健所管内におけるRSウイルス感染症の報告数は、9人（定点当たり9.00）でした。年齢別では、1歳（5人）、0～5ヶ月・6ヶ月～11ヶ月・2歳・3歳（各1人）の順に多い報告でした。

RSウイルス感染症は、4～6日ほどの潜伏期の後に、発熱、鼻汁など、かぜに似た症状が現れます。

新生児や生後6か月以内の乳児や基礎疾患を有する小児等が感染すると重症化しやすい傾向があるので注意が必要です。

感染経路は、「飛沫感染」、「接触感染」です。感染者と直接、濃厚に接触した場合や、ウイルスの付着したおもちゃやコップ、ドアノブなどに触れたり、舐めたりすることにより感染します。予防には、咳エチケットや子供たちが日常に触れるおもちゃなどのこまめな消毒、流水・石けんによる手洗いやアルコール消毒による手指衛生を励行しましょう。

○学校における感染症による出席停止の状況 4/7～4/13（出典：学校等欠席者・感染症情報システム）

今週の出席停止は、百日咳1人、感染性胃腸炎1人、ヒト溶連菌感染症2人、マイコプラズマ感染症3人、COVID-19が1人報告されています。

疾患名	百日咳	感染性胃腸炎	溶連菌感染症	マイコプラズマ感染症	新型コロナウイルス感染症
自治体名					
日置市	0	1	2	3	1
いちき串木野市	1	0	0	0	0
三島村	0	0	0	0	0
十島村	0	0	0	0	0
計	1	1	2	3	1